

地域（連携）課題	
関係機関の役割・機能等に関する課題	
ACPについて、支援者が関わりだした段階から本人の意向を確認するためには、支援者が連携してACPを身近なこととして理解をしておくことが必要。	
難病や予後の告知を受けた方に対する支援について、本人・家族の意向が異なる際に専門職としての関わり方が難しい。	
在宅看取りを行うケースが増えており、チームで終末期の利用者への支援を考える必要がある。	
地域住民との連携において個人情報保護の観点から難しい。	
コロナ禍の外出制限による生活不活発病が生じており、予防やそのまま介護状態にならないために必要な連携を考える必要がある。	
当事者の会や家族会が少ない。既存の家族会も高齢化などの課題があり、地域ごとに取り組むなど開催頻度の増加を望む声がある。	
介護が必要な高齢者が支援につながっていない現状があり、地域と他職種がつながる必要がある。	
防災について、専門職同士の連携が課題。また、地域の防災の取り組みや災害時の動きを把握したうえで、専門職が地域とどのように協力していくのか検討する必要がある。	
コロナ禍や土地開発により地域・関係機関の顔ぶれが変わり、築き上げてきた関係が希薄となっている現状があるため、連携できる体制を再構築する必要がある。	
運営上の課題	
参加状況の課題	
枚方市医師会員向けにチラシ発送を依頼する等、周知活動はしているが、更なる周知活動が必要。	
開催日時や会場確保に関して、すべての職種が集まりやすいように設定することが難しい。	
当日会場での参加が難しい場合の取り組みや欠席者に対しての伝達方法の検討が必要。	
医療機関、介護保険事業所ともに業務多忙や人材不足により、事務局会議および本会議へ参加する人員の確保が難しい状況にある。	